



発行 五城目町役場 01885②2100㈹  
01885-17  
秋田県五城目町高崎字雀館下川原64の4  
編集 文書広報課  
印刷 湖東印刷所 01885②2430  
毎月1日 15日発行 一部 35円



秋の朝市を視察?する幼稚園のみなさん

おあげします  
幸組中にある事務室  
いふる事務室  
いふる事務室

## 秋たけなわ キノコ豊作

見るだけでも楽しい

秋の市日はさすがにぎやかだ。山の幸や新鮮な野菜のにおいが、そこはかとなく町中にただよう。ただ見て歩くだけでも楽しい。

今年の秋はキノコが豊作だといわれる。キノコの王様マイタケをはじめ、ナメコ、シイタケ、ナラタケ、ムラサキシメジなど簡単な店頭をところせましといろどる。キノコの種類は三千種にもおよぶというが、これにまつわる話題も多い。

マイタケの発生する場所は毎年ほぼ同じである。キノコとりを専門とする人はもちろん、これを趣味とする人たちは、その発生場所を親兄弟にも教えないといふ敵しさがある。

キノコが出まる時期ともなると、これらの人たちの心は落着きがなくなる。どのくらい育つただろうか。だれかにとられはしまいか、キノコと思う気持ちは日増しつのるばかり。日曜日ともなると、朝まださめやらぬ二時、三時に起きて山に向う。山へ着くやいなや、目標のナラの木(ミズナラ)をめざして、道なき道をかけのぼる。

計算どおりの成長をしているときはもう、心はたかれかにとられはしまいか、キノコと思う気持ちは日に増しつのるばかり。日曜日ともなると、朝まださめやらぬ二時、三時に起きて山に向う。山へ着くやいなや、目標のナラの木(ミズナラ)をめざして、道なき道をかけのぼる。

### 薬効が注目されるシイタケ

シイタケは本来山に自生するものであるが、人工栽培が盛んなところから「シイタケも山にあるのか」という考えるむきが少くない。シイタケの生もおいしいが、乾燥するとエルゴステリンがビタミンDに変り栄養面でも優れるといわれる。薬効のほどは定かでないが、最近サルノコシカケとともに制ガン効果があるのではないかと注目されている。

### 副業以上に育たないか

キノコの貯蔵はいろいろあるが、乾燥、塩蔵、びんづめ、かんづめ、みそづけ、カラシづけなどにする。自然の恵みはありがたいものに変りはないが、これを人工栽培と組み合せて農家の副業以上のものに育てあげることができるものであろうか。マイタケもマツタケも人工栽培できる時代である。秋たけなわの今、キノコ産業の拡大を考えてみたい。

七十歳以上は一、三五八人

敬老式には九百人が出席

……町の敬老式は九月九日午後一時から……  
……玄武本育館で、七十歳以上の手寄

井憲朗ちやんと工藤いおりちゃん  
が、猿田三三の丞さんと大石イクさん  
に「おめでとうござります」と花束を手渡し、長寿をお祝いした。  
九十歳以上の長寿者と金婚式を  
迎えられるご夫妻のお名前は次の  
とおりである。(敬称略)



高齢者を代表して町長から記念品を受けとる島山リツさん

日を迎えるお年寄りは、千三百五十八人で、昨年より六十一年も多くなっている。九十歳以上の年寄りは十三人である。最高齢者は、明治十八年生れの石川常吉さん（北々口）で、九月十八日で満九十六歳になられた。

の如象者に美園有園が贈られたばかりか、傘寿を迎られるお年寄りには鳴杖も贈られた。また、今年めでたく金婚式を迎られる二十一組のご夫婦には、記念品が贈られた。あいさつに立った加賀谷町長は「みなさんのおかげで町も年々整備されてきている。町の中の良いことは、すべてみなさんの手柄である」とお礼を述べ、労をねぎらった。また、五城目保育園の鳥

九百五人出審て行つれ。

▽長寿者

▽  
金婚者

翁の郷土を豊かにする働きは、このときからほんものになる。小玉翁は村人に山へ木を植えることをすすめた。今までほつたらかして、あつた原野には、つぎつぎに杉の苗木が植えられ、きれいな林が年がとめた。今この造林地を、土地の

石川翁の教訓を学んだのではないだろうか。小玉翁の生まれた高田町の部落の公園のなかに建っている記念碑に、「村の山からの収益金は子弟の奨学金にあてよ」と、きまりで記されている。この碑文が、小玉翁の村づくりの精神を最もよく表していると思う。

六年前「二の沢」にある「村の山」の木がきられ、収益金の配分

「な」と言つて、応援してくれた。ふだん、あんまりふれることのない父の指先から、あたたかいものが伝わってくるのを感じた。記念碑の前に立った父は、両手をあわせておがんだ。郷土づくりに努力した小玉翁に感しやして、いるのだろう。それを見ていたわたしあも、しらない間に手をあわせて翁の偉業に頭をさげた。

石井 清治・ナツ（寺庭）  
佐藤 利七・ミエ（中村）  
伊藤亀太郎・スワ（恋地）  
小林 米藏・ギン（下山内）  
石井市太郎・キクエ（上山内）  
石井 助藏・サト（黒土）  
浅野栄三郎・タケノ（大川一区）  
八柳専之丞・カツエ（大川一区）  
加藤久太郎・ミサ（石崎）  
小熊 久孝・リエ（西野）  
川藤 寛蔵・ヨシエ（西野）

赤い羽根に協力を

十月一日から全国一斉に赤い羽根の共同募金運動が始まります。町の社会福祉協議会では、二百八万四百円を目標に募金活動を行ないますので、ご協力をお願ひします。

まれる社会福祉事業に必要な資金を集める募金です。共同募金がほかのいろいろな福祉募金異なる点は、民間社会福祉事業のための資金を一本化し、寄付金の募集・管理・配分の総合的な調整をはかつていくことになります。

云々生の前骨某と並  
福祉施設や団体を対象に、広く  
分配されています。

## 「第十七回県の記念日」入選作文

人々は「村の山」と呼んでいる。社会が不景気で困っているところへ凶作がかさなった。昭和の初めころ生活に困った村人は「村の山」の植林作業に出かけ、日手賃をかせいで、不況をしのいだるだ。小玉翁は「林は一夜にしてできるのでない。子孫のために植え

が行われた。わたしの兄はこのお金で、高校へすすんだ。小玉翁の「住みよい郷土づくりは、教育から」と言う考えが、六十年後の今日生かされている。

きのうの日曜日、父と連れだつて、「二の沢」の山へ入つてみた。山の入口に「永久林設定の碑」が立っていた。碑文に「昭和五十年

## まだまだ元気九十六歳

町の最高齢者は石川さん

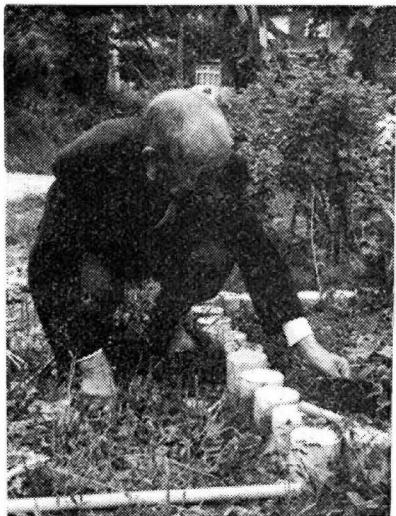
石川常吉さんは明治十八年生れで、先月までたく十九十六回目の誕生日を迎えられた。当町の最高齢者である。

たいへんお元気で、病院の世話になつていいし、薬を飲んでいるわけでもない。家族の人たちが驚いているぐらいである。耳も目も達者で、普通の話し方で十分通じるし、目の方も高齢者とは思えないくらいしっかりしているそうである。

鶏にエサをやることを日課にして、毎日身体を動かしている。天気のよい日は、家の中にいること

は少なく、家のまわりの草取りなどをする。  
お酒が好きで、飲みたくないなれば自分で買いに行って飲むそうである。しかし、晩酌はご飯が食べら

わくなるからと言つてしないと家族の人は話してくれた。  
町が定めた寿条例の対象者第一号となられるように、いつまでもお元気でいてほしい。



天気のよい日は外で草取りをする石川さん

国保  
の窓

## 高額療養費の支給について (2)

その月に支払った自己負担額が三万九千円を超える場合は、各条件を満たしている場合は、高額療養費支給申請書を町長に提出して高額療養費を申請することになります。申請書は役場に準備してありますので、次のものを準備して、窓口へおいでください。

\*銀行・信用金庫・農協(郵便局を除く)

(2)



いと思うので、よろしくご協力お願い申し上げたい。

馬場目小学校を中心とした整備したい。

町長：逢内台地区に全然手を着けておらないわけではない。あそこには駐在所も当初警察署から改築の話が持ち込まれたときは、前の場所で結構だと言っていたが、今向い側に移転していただいたわけである。

あそこの地域はやはり小学校を主体に整備すべきだろうと考えてある。森山かまたは馬場目の連峰を眺めさせる方向でやった方がよいのか、小学校をまずよりよい位置を決定しなければならないと思っています。いろいろみなさまのお話をうかがいながら弾力的に運営していくのが、今はまず主となべきものを決めて、それから従うべきものを整備していくたらどうだらうか、という考え方についている。

さらに関連して神社についての指摘はそのとおりであるが、神社との協議の上で問題があり、まだ意見調整が未処理になつてゐるのが実情である。今後さらに話を進めながら一刻も早く処理させたいと思っている。

なお、この機会に申しあげたいが、あのお宮をあのようなきゆうくつなところに置かないで、元のあった方に移したらどうだらうかと私のところへ意見が入ってきてる。これは地元の議員のみなさんとよく協議しながら進めていきた

い年度利益金  
七四一万四千一五五円  
の委員である、五城目町野口清

四年九月二十七日生の任期が昭和五十六年九月三十日をもって満了するので、後任の委員を選任した議案。

なお、佐川俊雄氏が再任された。地方税法第四百二十三条第三項の規定に基づき、議会の同意を求めた議案。

(1)町内に住所を有する個人一人個人の均等割額および所得割額  
(2)町民税の均等割額は年額一〇〇円(県民税五〇〇円)を標準として定められている。

個人の町民税は、均等割額と所得割額からなっている。  
(1)所得割  
町民税の所得割額は、前年中の所得金額を基礎として計算される。

水沢・恋地間の道路についてはみさんごらんのとおり、大変な工事になるものとみられ、ばく大きな額がかかると言われている。

私の聞いている範囲では二十数億円と言われているが、このような事情であの部分を除いて上の部分を整備しているところである。

しかし、いずれ着手しなければならないということで、みなさんと一緒にになって陳情した経緯がある。その結果、わずかではあるが過般土木所長に会って、今年からわずかではあるけれども、仕事に着手するという返事を確認している。このことを地域の関係者にお伝えいただければ幸いである。

利益剰余金の処分当年度未処分利益剰余金が二千三一万一千〇三〇円となつたので、これを減債積立金建設改良積立金一五一万九千一九三円翌年度緑越利益剰余金一千八四一万一千八三七円に処分する

## 税務情報報

### 議決された議案

#### 議案第三十五号

昭和五十五年度五城目町水道事業会計決算認定について

#### 議案第三十六号

昭和五十六年度五城目町一般会計補正予算(第二号)

#### 議案第三十七号

昭和五十六年度五城目町国民健康保険特別会計補正予算

#### (第一号)

十月は、町(県)民税(三期间)の納期です。  
「町税のしくみ」をお知らせします。

#### ◎町民税

(1)前年中において所得を有しなかつた者  
(2)生活保護法の規定による生活扶助を受けている者

(3)障害者、未成年者、老年者または寡婦で前年中の所得の金額が八十万円以下である場合

(4)前年中の所得の金額が十八万四千円にその者の控除対象配偶者および扶養親族の数に一を加えた数を乗じて得た金額以下である者

B 税率  
Bで算出した課税所得金額から基礎控除、配偶者控除など十二万円超の十四パーセントまでの十三段階の超過累進税率となつていて

C 税率  
Cで算出した課税所得三〇万円以下の二バーセントから、四九〇万円超の十四パーセントまで

税率は、課税所得三〇万円以下の二バーセントから、四九〇万円超の十四パーセントまでの十三段階の超過累進税率となつていて

なお、退職所得、山林所得、土地等の譲渡所得および土地の譲渡による事業所得等については、分離課税制度がとられていて

法人の町民税の法人税割  
(2)法人の町民税の法人税割  
法人に対する町民税の法人税割の税率は、標準税率十二・三割である。(五十六年八月一日以後終了する事業年度分より)

なお、法人の均等割額は、資本等の金額および従業者数に応じてそれぞ異なる。

#### ①収益的収支は

収入総額

八千五〇八万三千五九一円

支出総額  
事業会計決算を地方公営企業法第三十条第四項の規定により、監査委員をつけ、議会の認定を受けた議案。

十一条第五項の規定により、監査委員をつけ、議会の認定を受けた議案。

#### 議案第三十八号

昭和五十五年度五城目町簡易水道事業特別会計補正予算

#### (第一号)

昭和五十六年度五城目町水道事業会計補正予算(第一号)

#### 議案第三十九号

昭和五十六年度五城目町国民健康保険特別会計補正予算

#### (第一号)

本町の固定資産評価審査委員会の委員選任について

#### (第一号)

本町の固定資産評価審査委員会の委員選任について

①個人の町民税  
②課税標準と税率

(軽自動車税については次号で)

支岡總額  
八千五〇八万三千五九一円  
七千七六六万九千四三六円

議案第四〇号  
五城目町固定資産評価審査委員会の委員選任について  
本町の固定資産評価審査委員会の委員選任について



# 広報文芸



## 川柳 すずむし 九月 号

戦争を意識している防衛費  
黒い血の流れる夜はけのものめき  
騙された振りをして聞く胸算用  
キャンバスの彩を塗り変え定年日

母という太陽だから好きになり  
偶然と思えぬ落し穴の位置  
景気よい話はウソ・うそ・嘘と聞く荒川洋一郎  
長風呂へ声をかけあう老い二人

吊り皮の美人に揺れたふりをする

旅続くその日その日の未知に触れ

戯むれてみる十本の指の先

イヤリングはずすと嘘がこぼれ落ち松田ウタ子

初恋は指切りだけの遠い虹

主義主張曲げぬ明治の床柱

働けるうちは平和だと思い

酔うほどに貴様と俺となる仲間

虚しさは外れた籠の置きどころ

叱られて育つ明日の陽を抱き

まれに見る国旗明治の人気がいる

孫に手を重ね絆の血が通う

不発弾抱いていく日の父の独楽

石段の高さに神を信じ切る

日本酒を配り出世の名刺売る

いたわりの言葉に弱い歳になり

台風が来れば無力となる家紋

渡辺 松風 坂谷 竹林 渡辺 銀雨 鍋谷 福枝

佐藤 姚子 今野 一城 渡辺 銀雨 鍋谷 福枝

佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

平川みつえ 今野 一城 渡辺 銀雨 鍋谷 福枝

納谷 喜代 北柳 北柳 佐藤 佐藤 佐藤

細田 陽炎 柴 みつ 伊藤 正蔵 伊藤 正蔵 伊藤 正蔵

福島 ミツ 文 伊藤 芳穂 伊藤 芳穂 伊藤 芳穂

佐藤 はる江 斎藤 謙一 斎藤 謙一 斎藤 謙一

佐藤 ウタ子 チエ チエ チエ チエ チエ

佐々木敏子 北柳 北柳 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

加藤 円心 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

本庄 潤水 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

渡部 光人 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

川上 哲也 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

猿田 升 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

寒坊 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

細田 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

坂谷 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

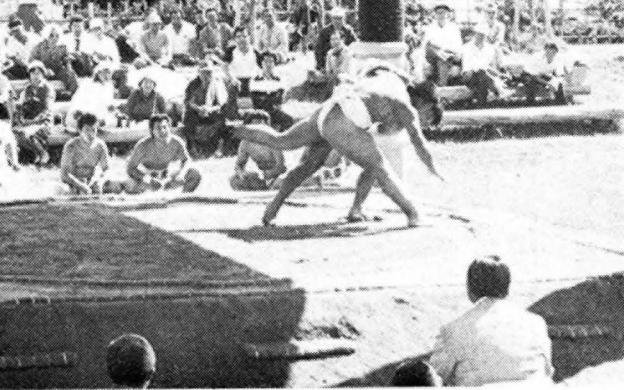
和田 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

梅里 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

陽炎 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

細田 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤



見物人をわかせた土俵

## 川柳 すずむし吟社 九月例会

「サービス」

猿田寒坊選

サービスの品だけ目当ての欲の列  
サービスの海老に合わせて鰯贈る  
サービスは酔させてから落し穴  
墓場までサービス老人にある福祉

俳句 題 秋・涼し (町村俳句会)

石井 進 松の根に繋がる牛の秋涼し  
夕涼やひとり書斎の二階住み  
高々と鳴るベルのあり夕涼し  
一日をわれら遊びぬ渓涼し  
しみじみとながめて楽し稻の秋  
吟行の肩ぬらしけり秋の雨  
谷水の音はかばそく暮るる秋  
ピッケルを時にふりゆく登山かな  
友情を温め合えおり生ビール

石井 進

伊藤 正蔵

伊藤 芳穂

伊藤 謙一

斎藤 耕之助

斎藤 謙一

伊藤 芳穂

伊藤 謙一

伊藤 芳穂

合理化にサービス・低下する国家  
サービスの花がどぎついネオン街  
サービスのお酌おねだりついてくる加藤  
もつきりのコップへ口が先に出る  
居酒屋のサービスという冷奴  
サービスの片目にひそむ麻雀薬  
渡辺 荒川 三及

光人 北柳 一関 円心  
柴田 銀河 銀河  
渡部 荒川 三及

サービスの花がどぎついネオン街  
サービスが良すぎて妻のさい疑心  
もつきりのコップへ口が先に出る  
居酒屋のサービスという冷奴  
サービスの片目にひそむ麻雀薬  
渡辺 荒川 三及

光人 北柳 一関 円心  
柴田 銀河 銀河  
渡部 荒川 三及

## カメリリポート

### 相撲好きが熱心に観戦

運動公園相撲場で高校新人大会



来賓や町内会長による宝さがし(五城目地区)

### スポーツの秋を楽しむ

地区ごとの体育大会が盛ん

▽五城目	①畠町	②新畠町	③田町
▽馬場目	①町村	②平ノ下	③中村
▽内川	①坊井川	②恋地	③杉沢
▽五人	①浅見内一区	②湯ノ又三区	③湯ノ又二区

今年は全町体育祭が行われない  
年です。各地区ごとの体育大  
会が盛んです。

九月六日は馬場目、杉沢、五城  
目の各地区が、二十日には内川地  
区が、それぞれの小学校グラウン  
ドを会場にして、体育大会を開き、  
また両日とも好天に恵まれ、  
スポーツの秋を満喫した一日でした。  
各地区的主な大会結果は次のと  
おりです。

